

広報 いまり

昭和29年8月19日
第3種郵便物認可

毎月1日発行 定価1部24円 昭和55年9月1日 伊万里市役所総務部秘書課発行 No.319

さわやかな味覚の秋を迎え、フルーツの
里にふさわしく梨が枝いっぱい実って
いました。

(写真は、松浦町の新幸農園で梨狩りを楽しむ保育園児)

55

9月

豊かで健康な活力ある地方中核都市をめざし

新マスタープラン 審議会に素案諮問

市は「豊かで健康な活力ある地方中核都市」建設の新マスタープランの素案をまとめ、このほど伊万里市総合計画審議会（河村兼雄会長＝30名）に諮問しました。これでマスタープランの改定は実質審議を迎え、同審議会は12月市議会前に答申を出す予定で、詳細に検討が続けられています。

伊万里市総合計画は、昭和49年に「産業と自然との調和のとれた魅力ある都市」をめざした基本構想を策定し、今日まで計画的な都市づくりを推進してきましたが、安定経済成長への転換、市民意識の多様化など、社会経済情勢の大きな変動に伴って、新たな課題に対処し、一層の充実、発展をはかるために基

本構想の見直しを行い、改定することになったものです。

今回の新マスタープラン基本構想の目標年次は、昭和70年代（21世紀）を展望しつつ、昭和65年とするもので、本構想の将来人口は10万人都市をめざしながら、昭和65年の目標を8万人と設定しているものです。（現在人口6万1,000人）

この素案は(1)歴史・文化の再評価、(2)将来に向けて資質の活用、(3)創造と連帯と参加のもとに市民の知恵を結集するの三つの理念のもとに①社会環境の整備 ②教育文化の振興・③都市



▲マスタープランを審議中の総合計画審議会

総合計画の基本構想

三つの理念と五つの柱

◇三つの理念

1. 伊万里の歴史・文化を再評価をしよう
 - 国際交易都市としての歴史
 - やきものの里としての歴史
 - 石炭供給基地としての歴史
2. 将来に向けて伊万里の資質を活用しよう
 - 海洋空間の活用
 - 地理的条件の活用
 - 土地空間の活用
3. 創造と連帯と参加のもとに市民の知恵を結集しよう
 - 豊かな人間性を創造しよう
 - 市民相互の連帯を強めよう
 - 市民参加で新しい自治をめざそう

◇五つの柱

1. 健康で安全な暮らしができる明るいまちづくり
2. 郷土愛にみちた人間性豊かなまちづくり
3. 中核都市にふさわしい機能的なまちづくり
4. 豊かなくらしを支える活力あるまちづくり
5. 市民と行政が一体となったまちづくり

環境の整備 ④産業の振興 ⑤自治行政の確立の五つの柱として、「豊かで健康な活力ある地方中核都市」を都市像と定め、これの実現をめざすものです。

私はブラジル国の各市を回りながら、地球の反対側の十二時間も時差の違う、しかも異なる人種の最も多い異国にいるという感じが少しもなく、国内のどこかを回っている感じで、伊万里に帰ってからも外国に行ってきたという思いは少なく、従って疲れも予想外に少なかった。

それはどこに行っても会う人に邦人が多く、しかも食べ物豊富で日本料理をいただこうと思えば、いつでもいただけたからではないかと思われる。

ブラジルは暖流と寒流が合流しているところで魚の種類も多く、鯛やマグロのさしみ、えび、貝など何でもあり、肉はブラジルの主産物であり、農産物の80%は日系人が出荷しているから日本の野菜と同じ種類で、特に果物に至ってはメロン、パイナップルなど大きさも味も豊かで、その上に値段が日本の十分の一である。

このようにブラジルは自然の恵みが豊かであるが、まだそれが本当に生かされているとはいえず、これからさらに日系人の活躍が望まれてならない。

(竹)

竹内市長

ブラジル県人会創立25周年式典に出席

伊万里出身移住者を激励

竹内市長は、ブラジル県人会25周年記念式典並びに県人会館建設の定礎式に出席のため、香月県知事らと7月30日から8月12日までの14日間、ブラジルを訪問し、合わせて市内出身移住者の経営する農場などを視察して激励、交流を行いました。

ブラジル県人会創立25周年式典は、県人会館定礎式と合わせ8月3日、サンパウロ市で、約600人が参加して盛大に行われました。

ブラジルには約75~80万人の邦人がいるといわれ、うち県出身者は約2万人で、その6割がサンパウロに住んでいます。

市内出身者は県内でも最も多く戦後141世帯が移住しており、

今回の公式訪問日程の中にも南波多町出身の前田常左エ門さんの農場が訪問箇所となりました。

竹内市長は、式典や公式訪問の後、単独で山代町出身の川久保源二さんら、伊万里出身移住者と懇談して交流をはかるためビリグイ市、マイリンケ市などを訪れ、郷土の方々へのことづけなどを引き受けてきました。

サンパウロでは主賓待遇として歓迎され、州知事より文化勲章(写真)を受けました。またビリグイ、マイリンケ両市長から姉妹都市を結びたいと申し込まれるなど、友好親善の交流を行いました。



▲サンパウロ州知事から贈られた文化勲章

移住者随一の成功者の前田さん 近代的農業経営の川久保さんも

リベロンプレットで農場を経営している前田常左エ門さんは耕地面積4万ha(市の農地の7倍)に綿、大豆などを栽培しておられ、日本人移住者随一の成功者です。常用労働者は1,200人で最盛期は5,000人を雇い、自家用飛行機をもつ大型農場を経営されており、伊万里出身者の面倒をみるなど現地ではたいへん感謝されています。

一方、山代町出身の川久保源二さん兄弟はマイリンケで、広大な農地に水を引きスプリンクラーを設備した近代的農業で野菜を栽培し成功しておられます。



▲ブラジルの前田さんを訪問する竹内市長と香月知事

ブラジルの佐賀県人会創立二十五周年記念式典ならびに県人会館建設起工の定礎式に香月知事に同行させて貰ったが、サンパウロ州の州賓としての待遇を受けパトカーの先導がつき、記念式典では州知事より文化勲章までいただいた。さらに私はその後、伊万里市出身の人や知人のいる市を訪れたが、いづれも市の賓客として最高の栄誉礼をもって迎えられた。それらの市は、日本移民では一番の成功者とブラジル全土でも評判の高い前田常左エ門翁のおられるリベロンプレット市、山代町出身の川久保兄弟が定着しておられるマイリンケ市、私の知人の末永建郎氏のおられるビリグイ市の三市で、中国訪問の場合と異なり三市とも先方から伊万里市と友好姉妹都市を結びたいとの希望が述べられたほどである。



向山炭鉱跡に合同慰霊碑

地区民の手で無縁仏を供養

山代町の向山地区(165世帯)では、無縁仏となっている炭鉱時代の共同墓地を供養しようと地元の人たちの手で、このほど合同慰霊碑が建立されました。

向山炭鉱は大正元年に採炭が始められ昭和38年に閉山しましたが、最盛期には約1,000人の方が働いていただけに、身寄りのない方など多くの方々が共同

で葬られており、いずれも土葬で古老の話では約1,000体ちかく眠っているとのことでした。

地区の方は、これまでも盆、正月前には草刈りなど清掃して供養をしてきましたが、区長の谷口正義さんらの呼びかけで墓碑を建てることになり、地区内の方などから募金をつのり約40万円をかけ、無縁墓碑を建てたものです。

墓碑には竹内市長が書いた「向山聖霊合同慰霊碑」が刻み込まれており、地区民の方は「やっと念願がかないました。これで仏さまも浮かべられます。」と話しておられました。



地区別飲酒運転検挙者数

(昭和55.7.31現在 伊万里警察署調)

地区	1月~6月	7月	累計
伊万里	5	0	5
大坪	4	0	4
牧島	3	4	7
立花	5	0	5
大川内	6	0	6
黒川	6	2	8
波多津	1	1	2
南波多	2	1	3
大川	2	0	2
松浦	1	2	3
二里	7	0	7
東山代	4	1	5
山代	5	4	9
(市外)	12	5	17
計	63人	20人	83人

市の人口

(8月1日現在)

総人口 61,180人 (+33)
 男 29,046人 (+28)
 女 32,134人 (+5)
 世帯数 16,402世帯(+15)
 市民課調べ、()は前月比

9月の市民会館行事予定

- ・毎週金曜日 9時30分~15時
 運転免許証更新時講習会
- ・3~5日 9時~17時
 老人作品展(ロビー)
- ・4日(木) 9時~17時
 老人福祉大会(ホール)
- ・4日(木) 9時~17時
 自動車運転者の適性診断
- ・11日(木) 13時30分~16時
 全国労働衛生週間説明会
 (伊万里労働基準監督署)

「愛LOVEいまり」運動

心豊かなふるさとを築こう

より良く伊万里を愛する心の運動——「愛LOVEいまり」が展開されています。

これは伊万里青年会議所(田中昭三理事長=62人)の呼びかけで、郷土伊万里を愛する市民のみなさんとともに「心豊かなふるさとを確立しよう」と、連絡協議会を結成して「愛LOVEいまり」をキャッチフレーズに自分たちの住む町は自分たちの手で築こうとする運動です。

この運動を盛り上げるために親・子・孫の三代が両手を広げて大きく伸びる姿を表わしたシンボルマークのステッカー(写

真)を作成、配布しています。

ステッカーは、小学生のランドセルやマイカー、商店のウィンドー、公共施設などに張り、市民の協力を呼びかけます。



▲「愛LOVEいまり」のステッカー

県下初の「住民総合健康診断」

受診率の向上をめざし

健康は、まず体から——と市は社会総健康運動の一環として、県下で初めての「住民総合健康診断」を実施し、受診率の向上や治療を促す健康管理に大きな成果を上げています。

検診は、これまで別々に行っていた結核検診と循環器疾患などの検診に、特に女性に多い貧血の検査を加え、さらに農協が独自に実施している農協婦人部検診を一緒にするなど、総合的な健康診断を行い徹底した健康管理を目指しています。

対象者は15歳以上（勤労者）から65歳までの45,382人で、第1回検診は7月28日の山代町を皮切りに8月29日まで、約1か月間にわたって市内11地区の公民館で行われました。

検診には佐賀医大や社会保険浦之崎病院、市内の医師、保健所、3農協、市役所保健婦ら40名があたっており、受診者一人ひとりの「健康管理票」を作成して管理指導を行っています。

受診率は市が昨年、年間を通

じて行った結核検診が12%、循環器で15%であったのが、今回の総合検診では1回の実施で22%を上回る成果をあげています。

今後も受診率100%を目指し総合健康診断の実施を計画しています。健康は一人では歩いてきません。自分自身のために、まず健康診断を受けましょう。



◀市内各地で行われている住民総合健康診断



7月

貿易実験は22億5,842万円
で前月比4,121万円の減

【輸出】 なし

【輸入】 22億5,842万円

【船舶の入港】 15隻

(日本船3、外国船12)

【寄港上陸許可者数】

309人(フィリピン168人)

韓国89人、中国52人)

伊万里湾で海洋温度差発電に成功

佐大研究班 七つ島実験所で

伊万里湾の海水を使って海洋温度差発電の研究をしている佐賀大学理工学部

の研究班は、このほど七つ島工業団地内にある実験所で初めて発電に成功しました。

この実験は海水の温度差を利用して発電を行うもので、七つ島

の「海洋温度差発電実験所」では1.9KWの発電装置を据え付けて5月から実験に入り、今回700Wの発電に成功しました。

この海洋温度差発電は表層海水と深層海水の温度差を利用して沸点の低いフロンを蒸発、凝縮させながら行うものです。

実験担当の上原助教授は「50KWの大型発電機を9月末に設置する計画でいるが、これで連続運転が成功すれば実用化も可能です。」と話していました。



▲発電に成功・七つ島実験所で

まちの家計簿

昭和54年度 下半期の収支状況

昭和54年度の一般会計決算見込みは、歳入総額132億6,427万円で歳出総額131億8,355万円となり、差し引き8,072万円の黒字となりました。各会計の決算見込みのあらましは、次のとおりです。

＝歳 出＝

131億8,355万円

一般会計

＝歳 入＝

132億6,427万円

歳入総額132億6,427万円のうち、市税などの自主財源は、33億8,855万円(25.5%)で地方交付税や国および県支出金などの依存財源が98億7,572万円

と74.5%を占めています。

これは、国や県の資金などを十分に活用した財政運営がなされているものといえます。

収入済額の主なものは、国庫支出金33億1,815万円(25.0%)、地方交付税30億2,423万円(22.8%)、市税22億255万円(16.6%)などです。

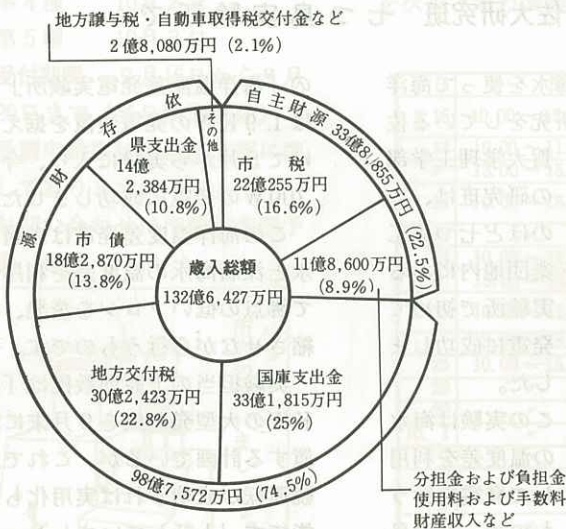
予算現額135億1,414万円に対し、収納率は98.1%となっています。

歳出総額131億8,355万円を性質別にみると、人件費・扶助費・物件費などの消費的経費が62億2,147万円(47.2%)と最も多く占めており、次に普通建設事業費・失業対策事業費などの投資的経費が59億7,057万円(45.3%)となっています。その他、起債元利償還金などの経費に9億9,151万円(7.5%)を支出しています。

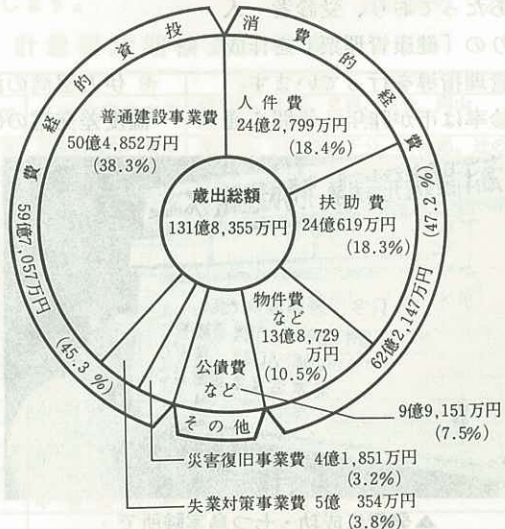
予算現額135億1,414万円に対し、執行率は97.5%となっています。

昭和54年度一般会計決算見込

財源別の歳入割合



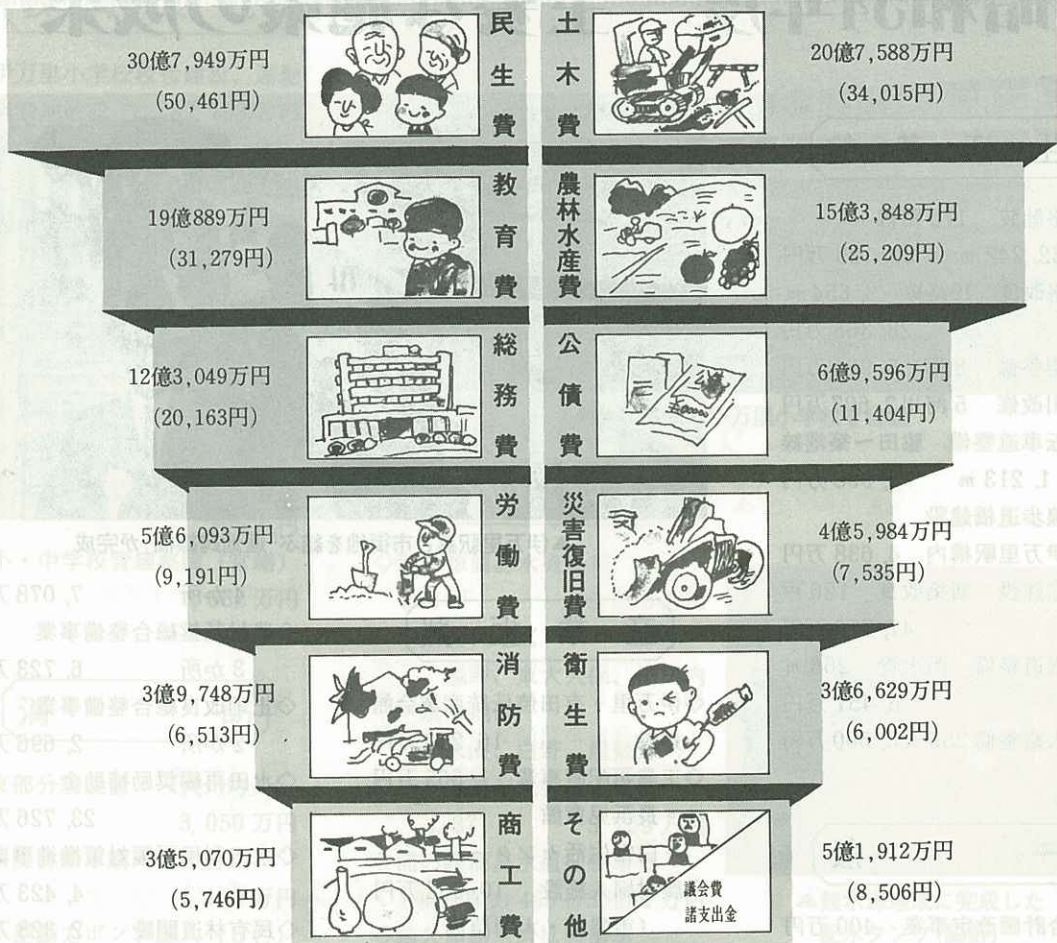
性質別の歳出割合



一般会計予算の使いみち

()は市民一人当たり

S55.5.31現在



支出済額131億8,355万円(市民一人当たり216,024円)

市有財産



土地
744万3,526
平方メートル



建物
17万0,003
平方メートル



基金
4億2,935万円



有価証券
6,956万円



重要備品
(車輛・物品など) 359台(個)

特別会計

予算執行状況

(単位:万円)

区分	歳入			歳出		
	予算現額	収入済額	収納率%	予算現額	収入済額	収納率%
簡易水道	23,126	23,182	100.2	23,126	22,369	96.7
国民健康保険	222,585	237,558	106.7	222,585	207,506	93.2
と畜場	865	151	17.4	865	791	91.4
同和地区住宅改修資金貸付	728	717	98.4	728	717	98.4
立花台地業開発事業	21,401	24,599	114.9	21,401	20,597	96.2
休日急患医療センター	735	518	70.4	735	635	86.3
合 計	269,440	286,725	106.4	269,440	252,615	93.7

昭和54年度 主要な施策の成果

生活基盤

- ◇道路舗装 175 路線
32,242 m 32,129 万円
- ◇道路改良 19 路線 3,654 m
28,365 万円
- ◇橋梁整備 8 橋 5,964 万円
- ◇河川改修 5 河川 2,607 万円
- ◇自転車道整備 脇田～築港線
1,213 m 3,968 万円
- ◇跨線歩道橋建設
伊万里駅構内 4,638 万円
- ◇住宅建設 新築改良 126 戸
47,776 万円
- ◇下水道整備 汚水管 266 m
6,451 万円
- ◇下水道整備 255 m 3,500 万円



▲伊万里駅裏と市街地を結ぶ「蓮池跨線橋」が完成

産業振興

- ◇伊万里・有田焼伝統産業会館建設 16,230 万円
- ◇工業再配置事業 1,565 万円
 - ・長浜児童館
 - ・白幡生活センター
- ◇農村婦人施設 10,932 万円
(市農協・大川農協)
- ◇地区再編農業構造改善事業
前平地区 5,388 万円
- ◇第2次農業構造改善事業
- ◇農村基盤総合整備事業 4 箇所 7,078 万円
- ◇土地改良総合整備事業 3 箇所 6,723 万円
- ◇水田再編奨励補助金 2 箇所 2,696 万円
- ◇水田利用再編対策推進事業 23,726 万円
- ◇民有林道開設 4,423 万円
- ◇波多津漁港改修 2,328 万円
- ◇波多津漁港改修 4,331 万円

一般

- ◇総合計画改定事業 400 万円
- ◇訪中団派遣(28名) 269 万円
- ◇市制25周年記念事業「交響詩伊万里」製作・発表 846 万円

社会福祉

- ◇保健センター建設 5,756 万円
- ◇西部老人憩いの家建設 10,334 万円
- ◇公立保育園増設 1,179 万円
(大川、松浦、前平保育園)
- ◇私立保育園新改築 1,919 万円
(立花、久原、鳴石、大里)
補助率を1/4から1/2に引き上げ
- ◇老人医療費助成 42,785 万円
- ◇生活保護費 110,580 万円



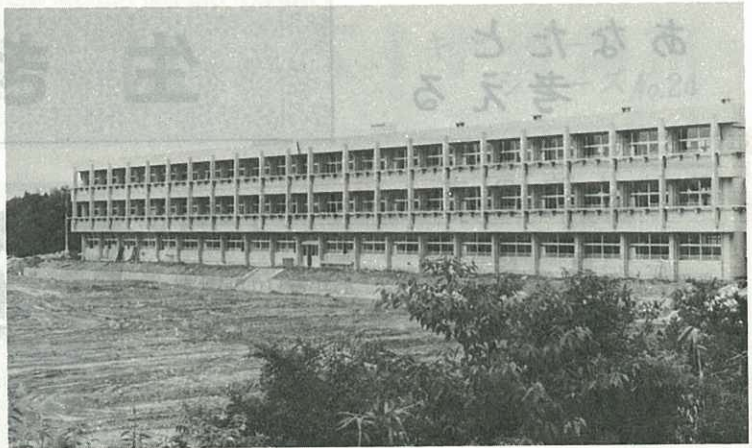
▲農村基盤整備事業で果樹園を造成

教育文化

- ◇伊万里小学校校舎建設、運動場敷地造成 52,793万円
- ◇大坪小学校校舎改築 26,220万円
- ◇大川内小学校屋内運動場建設 7,199万円
- ◇武道館建設 14,669万円
- ◇大川内公民館建設 10,474万円
- ◇波多津町コミュニティ運動広場整備外2か所 698万円
- ◇中央公民館増築工事外2か所 306万円
- ◇小・中学校管理整備(営繕) 7,662万円

消 防

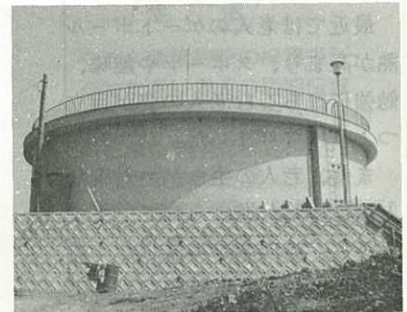
- ◇東部分署設置(大川町) 3,050万円
- ◇消防自動車購入(3台) 1,128万円
- ◇小型動力ポンプ購入(5台) 450万円
- ◇防火水槽設置(9基) 860万円



▲全面移転の伊万里小学校を建設

水 道

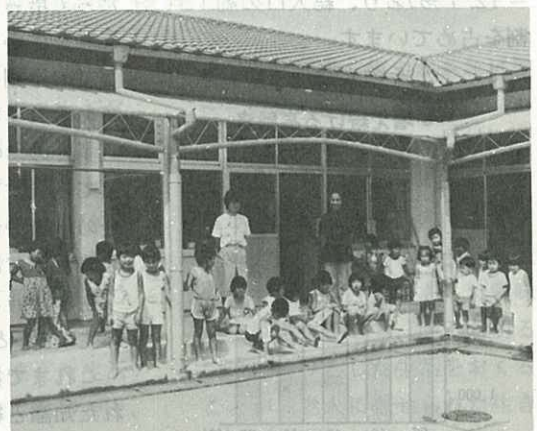
- ◇無水源簡易水道事業 256戸 32,270万円
 - 東山代地区 脇野、東大久保、浦川内
 - 永山地区 永山、白野、屋敷野
- ◇赤水対策配水管更正事業 4,871m 5,259万円
- ◇浦の崎簡易水道拡張事業 給水能力465 m^3 3,984万円
- ◇楠久簡易水道拡張事業 11,769万円
 - 配水管 4,113m
 - 配水池 1,000 m^3



▲無水源地域に完成した配水タンク(脇野)



▲完成した保健センターで乳児健康診査



▲新設の立花保育園が開園

あなたと考える

生きがいの

9月15日は「敬老の日」。この日から1週間は「老人福祉週間」が始まります。

長寿を心からお祝いするとともに、お年寄りの福祉を進め、生きがいのある社会を築きたいものです。

敬老の日を機会に、みんなで生きがいのある老後とは何かを考えてみましょう。

みんなで築こう 豊かな老後

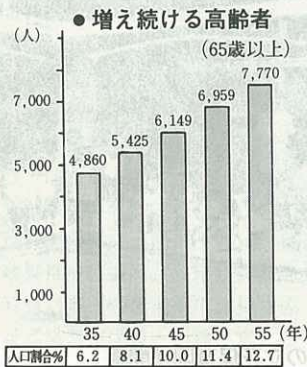


最近では老人のゲートボール熱が高まり、スポーツや趣味、勉強に打ちこむ老人の姿が目立つようになりました。

また、老人の生きがい対策など福祉施策も進められています。しかし、総理府が実施した「老後生活に関する世論調査」によりますと、お年寄りの半数近くは何の趣味や娯楽もないと答えています。

65歳以上の老人はいま全国で1,000万人以上（市は7,770人＝12.7％）おり、総人口の約1割を占めています。

そして、その半数近くのお年



寄りの方が、何らかの生きがいを求めておられるのです。

この問題はお年寄り本人の課題であることはもちろんですが、私たち自身の問題でもあります。豊かな老後を築くために、今一度みんなで考えてみましょう。

現在の老人の生活欲求(生きがい)

老後の心配がないように	64.4%
家族がなごやかに	49.8%
生活を便利で豊かに	35.4%
旅行や趣味	33.6%
話し合える友人がほしい	26.0%

総理府「老人の生活意識調査—49年」より
(注) 複数回答

お年寄りのパワーを生かそう

世代を超えたコミュニケーションの場を

お年寄りの方々は、長年にかけて培った知識や技術、人生経験を生かして、社会の一員としての役割をはたしたいと願っておられます。

多くのお年寄りの声に耳を傾けてみますと、願いは決して年金の増額や老人ホームの処遇の改善だけではありません。

生きがいは自分自身を精一杯生かすことではないでしょうか。

これまで社会に貢献してこられた知識と経験を生かして、社会に役立てるように努めること

が、お年寄りの生きがいとなると同時に世代を超えた新しいコミュニケーションの場にもなるのです。

そのためには、私たち一人ひとりが自分自身の問題としてとらえ、みんなで世代を超えた連帯と話し合いの輪を広げていくことが必要です。

それがお年寄りを社会に積極的に参加させ、お年寄りのパワーが生かされる機会を多く作り、生きがいのある社会を築くことになるのです。

る 老 後 と は

キャンペーン
シリーズ No.24

生きがいくりはみんなの手で

「人生70年」は、あたり前のことになりました。そして、高齢化社会は「かけ足、でやってこようとしています。

年金制度、老人医療の無料化、住宅問題、福祉サービスなど、社会保障の充実をはかるとともに「老後をいかに生きるか、という面にも目をむける時を迎えているのではないのでしょうか。

私の生きがい

蓮池町 樋口 巨さん(72歳)



私は、これまでの経験がいくらかでも社会のお役に立てばと願っています。

幸いに、先年は地域の皆さんから推されて6年間、区長としてお世話させていただくことができました。

今は、老人クラブに入り、仲間の皆様と助け合いながら趣味として、焼き物づくりなどに励んでいます。先日、関係方面から陶芸教室として呼びかけていただき、若い人たちがたくさん入会してくれました。陶芸教室

では開設以来これまでの経験を生かしてアドバイスをしています。ですが、いくらかでもお役に立てたいへんうれしく思います。

これからも、健康の続くかぎり、地域や社会のためにお役に立つことを生きがいに生活していきたいと願っています。

市の老人対策

活動

- ◇花づくり (休耕田利用)
- ◇老人家庭奉仕員派遣
- ◇老人友愛訪問 (家庭訪問)
- ◇愛の一声運動 (一人暮らし)
- ◇老人センター・憩の家運営
- ◇老人クラブ助成 (36クラブ)
- ◇敬老会の実施 (各地区)
- ◇高齢者就労相談 (相談室内)
- ◇生きがいと創造の事業 (陶芸・手工芸・園芸)

生活

- ◇老人養護施設の保護委託
- ◇ねたきり老人の短期保護
- ◇高齢者居室整備資金の貸付
- ◇日常生活用具などの給付
- ◇福祉電話の設置 (30台)
- ◇インタホン貸与(近隣者委託)

健康

- ◇老人医療費の無料化
- ◇老人健康診査の実施

自分にあった趣味や仕事を生かす

高齢者職業相談員 長尾三郎さん



私も68歳の老人です。

先般、総理府が老人の生きがいについての世論調査を実施しましたが、その中で半数以上の老人が趣味も娯楽もやっていないという人が多いのに驚きました。一体、何をして毎日を過ごしているのだろうか。おそらく老人対策の施策にあまえた生活を過ごしているのではないかと、老人なりにいかりを感じます。

お互いに働く気力があれば趣味も娯楽も、自分で造り出すことが出来るものです。

老人老人とあまりにも老人対策がさげられる今日の世相の中にあぐらをかきすぎる傾向が強いです。自分にあった趣味や仕事を生かして、いつも明るいびのびとした生活をおくるのが、老人に課せられた生きがいではないのでしょうか。

高齢者職業相談コーナー 高齢者の職業相談

- ・生きがいを求めて職場への再出発
- ・適職について話し合しましょう

高齢者の雇用相談

- ・豊かな経験や能力を活用しましょう
- ・雇用についての相談・求人申し込み

▲高齢者職業相談案内(市相談室)

市職員117人が異動

竹内市長は、8月28日付で市職員117人の人事異動を行いました。今回の定期異動は、職員の心気一転をはかり、さらに市民福祉の向上に努めるために行われたもので、これまで空席で富村助役が兼務していた総務部長や、簡易水道課、企業誘致推進室を設けるなど、人事の刷新をはかりました。異動した方は次のとおりです。

【部長級】

◇総務部長=鹿保 ◇市民部長=村岡博 ◇産業部長=松園家晴 ◇検査監兼技術監=吉牟田正己

【課長級】

◇企画課長=井上邦彦 ◇企画課(主幹)=中尾国雄 ◇市民会館長兼管理係長=畠山八朗 ◇市民部付=日高昇 ◇環境衛生課長=米沢兼助 ◇環境センター建設室長兼不燃物処理場長=久保岳人 ◇都市開発課長=山田登 ◇都市開発課下水道室長兼業務係長=松尾具弥 ◇市民病院事務長=小山智 ◇会計課長=吉住通泰 ◇水道部施設課長=田中正義 ◇簡易水道課長=野田静男 ◇選挙管理委員会事務局長(併)公平委員会事務局長=前島重秋 ◇農業委員会事務局付=福田幸吉 ◇教育委員会総務課長兼総務係長=川原郁朗 ◇社会教育課長兼中央公民館長兼伊万里公民館長=杉本茂助 ◇大坪公民館長=林芳之

【課長補佐級】

◇文書資料係長=松尾義明 ◇同和对策課長補佐兼同和指導係長=前田茂寿 ◇市民課長補佐兼国保係長=池田浩一郎 ◇市民課窓口係長=池田豊 ◇税務課長補佐兼固定資産税係長=河原斉 ◇環境衛生課長補佐兼環境衛生係長=川原求 ◇

福祉事務所次長兼社会係長=原口拓 ◇福祉事務所次長兼保育園係長=東島章夫 ◇伊万里保育園長兼みなみ、牧島保育園長=多久島龍美 ◇商工観光課長補佐兼商工、振興係長=橋口忠海 ◇商工観光課企業誘致推進室長=多久島隆 ◇建設課長補佐兼建築係長=大川内 旭 ◇建設課長補佐兼改良係長=前田龍弥 ◇都市開発課長補佐兼都市計画係長=谷口和夫 ◇国見台公園管理事務所長=梶山幸雄 ◇水道部施設課長補佐兼維持係長=岡本喜左門 ◇水道部施設課浄水場長=池田道夫 ◇議会事務局庶務係長=宝蔵寺伸義 ◇教育委員会総務課長補佐兼施設係長=松尾磨模留 ◇教育委員会総務課付=犬塚芳雄 ◇社会教育課長補佐兼社会教育係長=高野道雄 ◇波多津公民館長(併)波多津出張所長=池田光宏 ◇東山代公民館長(併)東山代出張所長=前田 昭

【係長級】

◇企画課開発推進係長=前田広次 ◇財政課用度係長=米川良雄 ◇市民課年金係長=副島英彦 ◇税務課市民税係長=川口正隆 ◇環境衛生課衛生処理場長=日浦二三男 ◇環境衛生課公害対策室次長=前田鉄雄 ◇福祉事務所婦人児童係長兼母子寮=山口長 ◇土地改良課は場整備係長=山口正満 ◇土地

改良課防災係長=佐々木弘志 ◇商工観光課観光係長=藤森安麿 ◇建設課舗装係長=熊川義尚 ◇建設課維持補修係長=山口成敏 ◇都市開発課下水道室工務係長=小野和宏 ◇水道部施設課工務係長=武藤 司 ◇簡易水道課簡易水道係長=丸田分作 ◇選挙管理委員会選挙係長=福田満男 ◇農業委員会農地係長=久保田正敏 ◇教育委員会体育保健係長=高志充圀

【係長待遇】

総務部 ◇川浪晴男 ◇山口吉彦
市民部 ◇桑原帷吉 ◇草場末雄 ◇小島睦老 ◇島田正尚
産業部 ◇池田勝康 ◇内野 蕃
建設部 ◇福田克己 ◇山下昭二 ◇馬場崎哲朗 ◇岡崎正伸
市民病院 ◇野口愛子
教育委員会 ◇岩本潔身 ◇山崎秀明 ◇牧瀬 厳 ◇山口源太

【一般職員】

総務部 ◇梶山初枝 ◇野口利徳 ◇白水忠博 ◇岸川正樹 ◇池田計一
市民部 ◇山口順子 ◇山崎淳一 ◇長野喜一 ◇田中久美子 ◇石井 勉 ◇前田勝征 ◇松尾アヤ子 ◇前山博盛 ◇金子京子 ◇野中万里子 ◇中島義照 ◇前田武美 ◇久保田照子
産業部 ◇柳本満晴 ◇島田房人 ◇大屋 修
建設部 ◇松永彰則 ◇山口忠幸 ◇田中正典
市民病院 ◇松尾ハルエ ◇長野鈴美 ◇前田美和子
会計課 ◇吉田ハツ子
水道部 ◇永田 学 ◇馬場 繁
農業委員会 ◇百武和男
監査事務局 ◇深江ツヤ
教育委員会 ◇池田直美 ◇川内一久 ◇松下裕慈 ◇諸江佐源

明日のため今日の
日本を知る調査

10月1日



国勢調査

国勢調査とは……

国の基本的な調査

国勢調査は、5年ごとに10月1日現在で国内に住むすべての人を対象に行われる、人口に関する調査です。

9月下旬から調査が始まります。調査員の指示に従って、エンピツでご記入ください。

今回の調査の特色

1. 国連がすすめる「1980年世界人口・住宅センサス計画」の一環として行う。
2. 人口の高齢化の実態は握
3. Uターンなど大都市から地方への人口移動のは握
4. 母子世帯、老人世帯など、社会福祉の対象となるよう

な世帯の実態は握

5. 経済構造の変化に伴う職業産業別人口の分布のは握

秘密は守られます

国勢調査は法律に基づいて行われる調査です。

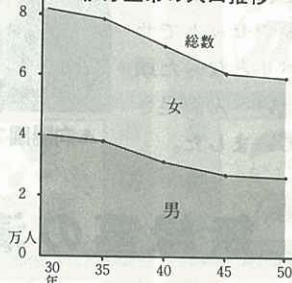
この法により、調査員をはじめ関係者が調査で知り得たことを、他へ漏らしたり、ま

た統計の目的以外に使用することは固く禁じられています。ですから各世帯の秘密は、しっかりと守られるのです。

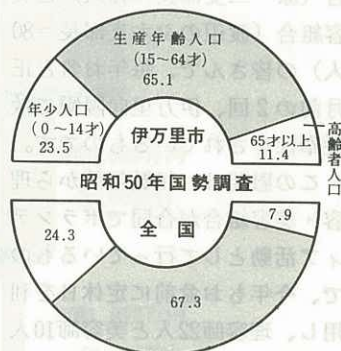
調査もれや重複調査のときは

なんらかの理由で期間内に調査のなかった世帯、また重複して調査があった場合は、10月9日までに、市役所国勢調査実施本部(☎②2111内線405)へご連絡ください。

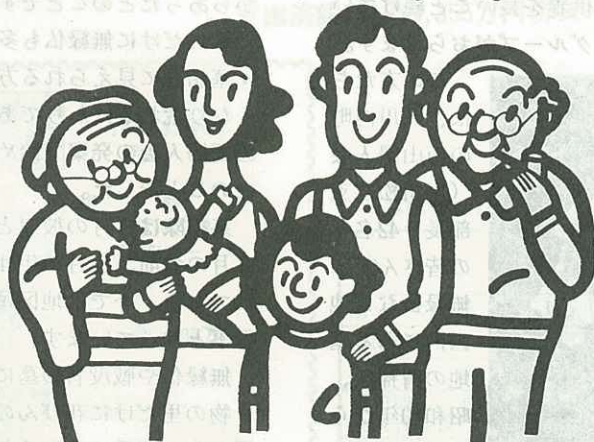
伊万里市の人口推移



年齢層別の人口比率



調査票の記入は エンピツで……



明日のため今日の日本を知る調査



昭和55年10月1日(水)

正確な調査にご協力ください

ご記入いただいた調査票は、10月5日頃までに調査員が回収します。

回収された調査票はそのまま機械にかけて集計されますが、文字がワクからはみ出していたり、折れ曲がったり、汚れていたりすると正確に読み取れませんので十分ご注意ください。

なお、調査員が回収する時期に留守だったり、都合で直接調査員に提出できない時は早めに公民館又は、実施本部へご連絡ください。

ありがとう あなたの善意

心あたたまる町の話

～その20～

老人ホームに「散髪慰問」

10数年続ける理容・美容組合の皆さん

お年寄りの皆さんに喜んでもらおうと、老人ホームを訪れ、「散髪慰問」をされているグループがおられます。

この方たちは、市内の理容組合（原一二支部長＝79人）と美容組合（渡辺のぶえ支部長＝80人）の皆さんで、毎年お盆と正月前の2回、伊万里向陽園で散髪奉仕をされているものです。

この慰問は、10数年前から理容・美容組合が合同でボランティア活動として行っているもので、今年もお盆前に定休日を利用し、理容師22人と美容師10人が同園に出向き、散髪やセットなどの奉仕をしました。

岩崎園長さんの話ですと「病弱などで外出できない人が多い

ため、普段は寮母さんが刈っているので、年2回の慰問を楽しみにしておられる」とのことです。久しぶりの散髪やセットでサッパリとなった頭にたいへん満足されていました。



▲向陽園で散髪慰問する理容・美容組合の皆さん

無縁墓の清掃を45年間

供養を続ける大川内町の市山婦人会

無縁墓を守ること45年間—。墓地の清掃や花のお供えなど、祖先の供養を長いこと続けている婦人グループがおられます。

この方たちは、大川内町の市山婦人会（岸川松江支部長＝42名）の皆さんで、無縁仏など地区内にある墓地の清掃を、昭和10年から今日まで45年間も続けてこられているものです。

市山地区57世帯は焼き物の里で、最盛期の明治の頃は300件からあったとのこと。

それだけに無縁仏も多く、年々墓詣りに見えられる方が少なくなり荒れるばかりであったため同婦人会の発案で始められたとのことでした。

墓掃除は3月の彼岸と7月・8月の盆前、12月の年4回行われており、今では地区民の年中行事となっています。

無縁仏や戦没者の墓には、焼き物の里だけに花びんの花筒が置かれ、四季の花がそなえられています。遠い祖先をうやまい墓地を清掃する姿には、ほのぼのとしたものが感じられました。



▲無縁墓を清掃する市山地区の皆さん

いま伊万里で



▲夜空を彩る光の祭典（8/11）
夏の夜の納涼を誘う花火大会が伊万里川河畔で催されました。



▲消防夏季訓練（8/17）
966名の消防団員が参加して夏季訓練が行われました。



▲ホッケー国体予選（8/17）
成年女子では伊万里が優勝して国体に出場することになりました。



▲大川町地藏祭の山笠復活（8/24）
地藏祭で29年ぶりに山笠が復活し賑わいを見せました。



▲松浦町に梨選果場が完成（9/8）
梨の生産拡大と経営の近代化を目指し、新幸農園内に梨選果場が落成しました。



▲早起き野球・早朝ソフト大会終わる（8/12・24）
野球はクーガース、ソフトはエバープログレスチームがそれぞれ優勝しました。

市職員を募集

申込受付 9月16～10月4日

市職員採用試験を次のとおり行います。(告示は9月5日)

▲試験区分と採用予定人員

- ・一般事務＝9名(男8、女1)
- ・幼稚園教諭＝1名(女)
- ・保育＝1名(女)
- ・消防＝1名(男)

▲資格

昭和30年4月2日から昭和38年4月1日までに生まれた方。(他に居住地制限等があります)

▲受付 9月16日～10月4日

▲申込書・試験案内の請求

市役所総務課職員係で交付。(郵送で請求の場合は封筒の表に「採用試験申込書請求」と朱書

し、60円切手をはったあて先明記の返信用封筒を同封のこと) ※申込書の交付は告示後、市役所総務課職員係(〒848伊万里市内立花台1-1-1 ☎③2111 内線411、418)で行います。

県営住宅の入居予備者を募集

9月9日～22日

伊万里土木事務所は協田と木須にある県営住宅の入居予備者を募集しています。

▲募集人員 約30名

▲受付期間 9月9日～22日

▲抽選日 9月30日

申し込み希望の方は伊万里土木事務所管理課(☎③4151)へ

県下の110番を本部に集中

通報はあわてず落ち着いて

県警察本部は110番利用の増加や犯罪の広域化、スピード化に対応するため、10月1日から110番をすべて本部通信指令室で受理することにしました。

そこで警察では次の事を皆さんにお願いしています。

◎事件・事故現場を正確に

県内には同じ呼び名の地名が多数あります。通報の際は市町村名や付近の目標などを落ち着いて正確に連絡してください。

◎110番は緊急通報の場合だけ

お尋ねや照合、要望、相談などは一般加入電話をご利用ください。110番は緊急通報の場合だけお願いします。

伊万里警察署(☎③3144)

消防設備士講習会

▲対象 消防設備士免許所持者

▲講習期日

- 第1種 9月29日
- 第2種 9月30日
- 第3種 10月1日
- 第4種 10月2日
- 第5種 10月3日

▲受付期間 9月16日から9月20日まで(当日消印有効)

※受講申請書は市消防本部に準備してあります。

お問い合わせは市消防本部予防課(☎③4311)へ。



計量器の定期検査を行います

9月16日～10月7日

昭和55年度の計量器定期検査を次のとおり実施します。

▲料金(例) 指示ばかり100円
台ばかり 240円

計量器定期検査日程表

月日	時 間	場 所	対 象 区 域
9.16	10.00～15.00	市農協西部支所	浦の崎、川南、立岩、西分、向山、西大久保、野々頭、東分
17	10.00～11.30	市農協滝川内支所	滝川内、川内野、下分、日南郷、辻の堂
"	13.00～15.00	山代公民館	久原一、二、三区
18	10.00～15.00	楠久公民館	楠久津、楠久、福川内、城、峰、鳴石
19	"	東山代公民館	滝川内支所分を除く東山代全域
24	10.00～11.30	大川内公民館	大川内町全域
"	13.00～15.00	二里公民館	二里町全域
25	10.00～11.30	牧島小学校	木須(西)、本瀬戸、中通、早里、築港、釘島
"	13.00～15.00	畑川内公民館	花房、畑川内、長尾、真手野
26	10.00～15.00	黒川公民館	上記を除く黒川町全域
29	"	波多津公民館	波多津町全域
30	"	南波多公民館	南波多町全域
10.1	"	大川公民館	大川町全域
2	"	松浦公民館	松浦町全域
3	"	大坪公民館	大坪町全域
6	"	中央公民館	伊万里町全域
7	"	"	(上記の未受検者全部)

国見台陸上競技カーニバル

出場申込みは9月22日まで

伊万里市と市体育協会、佐賀新聞社主催による第3回国見台陸上競技カーニバルを行います。

▲日時 10月10日(体育の日)
午前9時開会

▲場所 国見台陸上競技場

▲種目

- 〔リレーの部〕
- 小学生(4・5・6年男女)4×100m
- 中学生(男)4×200m
(女)4×100m
- 高校生(男)4×100m・4×400m
(女)4×100m
- 職域(男・女)4×100m
- 〔一般競技の部〕
- 小学生(4・5・6年男女)100m
- 中学生(男)400m・2,000m
砲丸投・走高跳
(女)800m・砲丸投
走幅跳
- 高校生(男)800m・5,000m
円盤投
(女)400m・円盤投
- 一般(男)5,000m
- 共通(高校・一般)
(男)走高跳(女)走幅跳

- ▲申込締切 9月22日必着
- ▲申込先 市陸上競技協会事務局、吉武正美氏(黒川町塩屋134)か市教育委員会体育保健課(☎②2111内線464)へ。



9月15日は敬老の日 市内各地で敬老会

市福祉事務所は昭和55年度の敬老会を9月15日に市老人福祉センターや各町公民館など14か所で行います。

今年75歳以上の方は、2,971名(男1,098名、女1,873名)おられ、95歳以上の高齢者は武藤藤四郎さん(96歳)をはじめ11名いらっしゃいます。また、米寿の方が5名おられます。

統制小作料制度がなくなります

10月から標準小作料に

農地改革以前からの残存小作地及び改革後から昭和45年9月30日までに賃貸借契約が締結された農地について適用されている統制小作料制度が昭和55年10月1日から標準小作料制度に移行します。

しかし、制度の移行によって自動的に小作料額が標準小作料に引き上げられたり、残存小作地の小作料が自由に引き上げられるわけではありません。あくまでも貸し手と借り手の協議に

よって決定されるのであり標準小作料はそのめやすです。

また、協議の決果、契約内容(金額、支払条件、存続期間など)に変更が生じた場合、農業委員会への届け出が必要です。

問い合わせは農業委員会事務局(☎②2111内線363)へ。

標準小作料額 (S55.3現在)

種類	料金(円)	10a当りの 収穫(kg)	備考
上田	35,000	500	昭和56年度から改定されます。
中田	31,000	470	
下田	20,000	420	

募 集

入 国 警 備 官

▼受験資格

昭和三十二年四月二日〜昭和三十八年四月一日生まれの男子

▼採用予定 約二〇名

八月二十九日〜九月十一日

▼申込書の請求

封筒の表に「入警受験」と朱書し、六〇円切手をはったあて先明記の返信用封筒を同封して人事院九州事務局(〒812福岡市博多区博多駅東二十一―一)へ請求してください。

郵 政 職 員(外務)

九州郵政局は九州管内の郵便局に勤務する外務職員を次のとおり募集します。

▼採用予定人員 約二〇〇名

▼募集期間 九月一日〜十日

▼第一次試験 十月十二日

詳細はお近くの郵便局にお尋ねください。

NBCラジオ番組モニター

▼資格 十六歳以上でNBCラジオが受信できる方。

▼応募期間 九月十日〜二十四日

ご希望の方はハガキに住所、氏名、年齢、職業を書いてNBC佐賀放送局(〒840佐賀市本庄町)へお送りください。毎月六〇〇〇円の謝礼があります。

地元開催の県体を成功させよう

開会式は10月4日午後2時30分から

県民の健康と体力の向上を目的とした第33回県民体育大会が伊万里市を中心として、有田町西有田町で10月4日(土)、5日(日)の2日間にわたり開かれます。

競技は22種目、31会場で開催され、県内の市、郡などを代表する精鋭の選手、役員、及び関係者約1万2,000人が伊万里市を訪れます。

特に、10月4日、午後2時30分から国見台陸上競技場で行われる開会式には伊万里市、有田町、西有田町の婦人会1,000人による伊万里にちなんだ創作マスゲーム「やきものの里」、伊万里小学校と大坪小学校5・6年生600人による「面浮立」、今回設立された伊万里市吹奏楽団の演奏など、この日のために

練習してきた成果を披露し、来伊される方々に伊万里市を深く印象づけるとともに、心から歓迎することになっています。



▲県体マスゲームを練習する婦人会

また、全国的に有名な清和高校のマーチング、新栄小学校の鼓隊の演奏などが大会を一層盛り上げてくれることでしょう。

歓迎と激励にご家族そろって参加され、今度の県体が若楠国体に優る成果があがりますよう市民の皆さんのご協力をお願いします。

なお、ジョギング大会参加者の申し込みを受け付け中です。

どなたでも参加できますので各町公民館または体育指導委員にお申し込みください。

気軽に相談ください

家庭児童相談室

すべての子供が問題なく、健全に成長することは社会全体の願いです。もし、子供や子供をとりまく環境に問題がある場合早めに気づき、早い時期に対処できるように家庭児童相談室が設置されています。

相談室では家庭児童相談員と社会福祉主事が相談に応じ、指導助言をしています。また、県の専門員から直接指導を受ける事もできますので、お気軽にご相談ください。

問い合わせは家庭児童相談室(☎2111内線265)へ。

1.差別を商う「部落地名総鑑」

昭和50年の暮に「部落地名総鑑」という本が発覚しました。

これは全国の同和地区を詳細に紹介した極秘図書として主な企業に売りつけ利益を得ようとしたもので第2第3と今日では第9種の「部落地

社会意識としてあることを私たちは反省し早急に改めていかねばならないと思います。

2.差別の芽

私たちは、幸せや、名誉を考へるとき、その心の中には「自分だけ」とか「うちの者だけ」という、自

同和教育シリーズNo.10

生きている差別

名総鑑」という本が秘密裡に発行された事実が判明しています。

なぜこのような差別図書が極秘のうちに発売されたか、これを必要とする者がいるからですが、いかに部落差別が社会の中に根強く生き続けているかが証明されるようです。

この図書が部落差別を拡大、助長し就職や、結婚問題に重大な影響を及ぼし人権を侵害することは明白で極めて悪質な図書と言わねばなりません。このような行為を許す素地が

分を中心にして考えることが多いと思います。そして人の不幸を見て「自分でなくてよかった」という気持ちで潜んでいることも否定できません。自分の欲望を満たすために人の不幸を喜ぶ、そこには住みよい郷土、明るい社会づくりへの連帯意識は芽生えていない、「自分だけ」の考え方が、他人や仲間をさげすむことになり差別社会を生み出す芽生えであることを理解してほしいものです。

(社会教育課)

職業訓練生を募集

伊万里高等職業訓練校

伊万里高等職業訓練校は次のとおり訓練生を募集しています。

▷能力再開発訓練

▲対象 離職者及び一般

▲職種 自動車整備科 (20名)
配管科 (30名)

▲期間 10月から1年間

▲締め切り 9月末日

▷在職者訓練 (向上訓練)

▲対象 在職者で新しい技術や資格を取得したい方

▲職種 機械科、塗装科、自動車整備科、配管科ほか。

▲期間 12時間以上

▷通信制訓練

▲対象 1級、2級技能士の資格を取得したい方

▲職種 1級…配管科他3職種
2級…機械科他28職種

▲期間 1年 (随時受け付け)

▲受講料 1級……8,000円
2級……6,000円

詳細については伊万里高等職業訓練校 (☎0155) へ。

お返しします 外地引揚者の税関保管品

終戦後、外地から引揚げてこられた方が、上陸地の税関や海運局に預けられた通貨・証券などをお返ししています。まだ引取りの済んでいない方は早急に返還手続きをしてください。返環の申し出は本人に限らず家族の方でも結構です。

お問い合わせは門司税関監視部 (☎093-321-3031) へ。

歌会始のお題は「音」

詠進は10月11日まで

来年の歌会始のお題は「音」と定められました。(おと、おん、ね、響きと詠んでもよい)

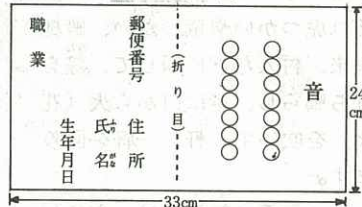
▲詠進要領

- ・自作・未発表の歌を1人1首
- ・用紙は半紙 (習字用・白) とし、毛筆で自書する (自書できない場合は代筆でもよいがその理由書を添付すること)
- ・書式は図のとおりとする

※詠進される方は9月1日から

10月11日までに、宮内庁(〒100 東京都千代田区千代田1-1)へ封筒の表に「詠進歌」と書いてお送りください。

書式図



次の方からご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。(敬称略)

◆香典返しを寄付
 天ヶ瀬絹子 (亡夫進 山代町浦之崎)
 樋口アサノ (亡夫成雄 大川内町大川内山)
 吉武武雄 (亡母トメ 山代町楠久津)
 佐志藤三郎 (亡妻スミヨ 黒川町花房)
 藤常信 (亡父常一 二里町川東)
 柴田弘二 (亡母キエ 浜町)
 前田昭雄 (亡父倉一 立花町西円)

参拾万円 姫野信彦 (松島町 伊万里小学校指定)
 拾万円 幸松福三 (山代町楠久 退職記念として滝野小学校指定)
 体育振興奨励基金へ
 中島紘一 (新天町六五四)
 明るい町づくり推進資金へ
 [南波多公民館]
 松尾敬一 (亡父角太郎 南波多町府招上)
 [大川公民館]
 仲尾治一 (亡妻ソヨ 大川町東田代)
 青少年健全育成基金 (緑化事業) へ
 拾万円 外園満喜男 (東山代町長浜 病氣見舞返し)



ありがとう

いざいざいざいざ

◆教育振興奨励基金へ
 ◆香典返しを寄付
 岡部幸雄 (亡母カヨ 立花台三丁目)
 坂口勝幸 (亡母ヒデ 佐世保市早岐町)
 篤志寄付
 拾万円 古藤勝彦 (大川町川原 病氣見舞返しとして)
 中島ミチヨ (亡夫定右工門 山代町久原)
 江口秋義 (亡母ノブ 松浦町上分)
 大城 洋 (亡母タマ 神奈川県逗子市)
 坂口松夫 (亡母フキ 里川町浦湯)
 宮本フイ (亡夫信芳 瀬戸町漁港)
 岩永清一 (亡妻ユキノ 大川内町小石原)
 山本辰市 (亡妻シナ 山代町立岩)
 森田トラエ (亡夫義孝 東山代町大久保)
 池田シツ子 (亡弟好秋 二里町内の馬場)
 (累計一、七〇〇、七四一円)

こどものページ

長い夏休みも終わり、2学期が始まりました。夏休み中の楽しかった出来ごとを思い出している人もいるでしょう。

この夏、子供を中心に行われた、たくさんの行事の中から2つを皆さんに紹介します。

お盆の伝統行事を受け継ぐ子供たち

大川町の虎まわし

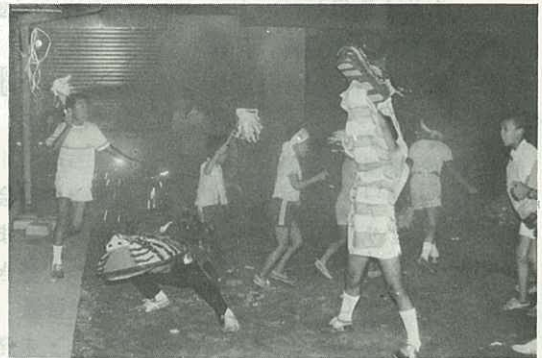
8月13日、14日の夜、大川町の井手口、戸石川、立川地区の子供たちは「虎まわし」というお盆の伝統行事を継承しています。

この虎まわしというのは虎や竜に田畑を荒されて困った村人が殿様に願い出て退治してもらった場面を、各家の庭先で演じてみせるもので、子供たちはそれぞれ虎つかいや竜つかい、殿様家来、村人などに扮して、鐘を打ち鳴らし、竜は口から火（花火）を吹いて一軒、一軒を回ります。

この行事の起源ははっきりしていませんが、眉山の獅鬼退治や加藤清正の虎退治、大川町を

治めていた殿様、鶴田氏と佐賀の龍造寺氏との戦を伝えたものなど、いろいろな説があります。

正月の獅子舞いと同じように、家のお払いをして、家内安全を願うお盆の行事です。



▲お盆に子供たちが行う大川町の虎まわし

大坪町子供クラブが野外研修

バーベキューに舌つづみ

8月18日から1泊2日の日程で「大坪町子ども日曜学校」が開かれ、小学校4年生から6年生までの約70人が参加して野外研修が行われました。

大坪公民館横の広場にテントを張り、野外生活や炊事などを共同で行うことによって仲間づ

くりや団体生活を実際に体験しようと真剣に取り組みました。

まず、歌やフォークダンス、ゲームをしてみんながうちとけ合ったあと、夕食はバーベキュー大会を開いて自分たちの作った料理に舌つづみをうちました。

暗くなっても行われたキャンプファイヤーでは、大きなたき火を囲んで、各班ごとに準備した歌や踊りなどの出し物を披露して、夜がふけるのも忘れるくらい楽しいひとときをすごしました。



▲キャンプファイヤーを囲んでゲームを楽しむ子供たち